

助成者	安田 又嗣	活動期間	2013年4月～2016年3月
所属機関	びわこ揚水土地改良区	職名	理事長

チェンマイの山に桜を（北部タイ地域における荒廃森林の回復）

【活動場所】タイ北部 チェンマイ

【事業目的】北部タイの森林地域では、焼畑農業や不適切な農法により水源域の荒廃がすすみ、土壌侵食、森林伐採、生物多様性の喪失、下流域での堆砂や洪水などの環境問題が起きている。それに対処するため、チェンマイ大学では2005年より森林の荒廃地に桜を植林する活動を始めた。当団体はチェンマイ大学農学部の学生と国際交流を行っており、学生は琵琶湖流域の農村を訪れて日本の農業や資源管理を学んでいる。本事業は、チェンマイ大学のさくら植樹プロジェクトへの支援を通して、国際交流をベースとする環境教育・啓蒙活動の実践と、現地における環境問題改善へ寄与することを目的に実施する。



桜植樹の集合写真

【活動内容】

タイさくら植樹プロジェクトを3年間支援。桜オーナー制度（5000円で桜のオーナーとなり名前・メッセージ入りの標識を設置）を導入して支援者を募った。具体的な活動は下記のとおり。

- ①桜の植樹：8回実施、合計延べ約500名が参加し合計3,000本の植樹を実施。
- ②小堰堤（チェックダム）設置：水源保全目的に土嚢、蛇カゴ、ブロックで2ヶ所設置。
- ③生育管理：植樹サイトへの生育チェック2度実施。標識の補修も行う。
- ④ワークショップ：日本とタイで計5回開催 ⑤交流会：日本とタイで計4回開催。

⑥広報：プロジェクトのウェブサイトを作成し紹介。パンフレット1900部作成。日本で開催したワークショップが、ケーブルテレビZTVで放映。

【活動成果】

3年間のプロジェクトはほぼ予定どおり進めることができ、植樹本数も多くの賛同者を得て当初予定数を800本上回る植樹が実現。外部の人も巻き込んだ環境保全活動として広く発信することができた。また、チェンマイ大学と近畿大学の農学部メンバーを中心とした国際交流による環境教育と啓蒙活動が、数多く展開された。

植樹の様子 紫の標識はオーナープレート

